

民生委員・児童委員の活動を発信!!

Well おおさか

30
2014.2

特集 一斉改選を迎えて

◎イキイキ ハツラツ

民生委員・児童委員さん

大阪狭山市民生委員児童委員協議会

民児協だより

能勢町民児協／寝屋川市民児協

藤井寺市民児協／泉大津市民児協



特集

平成25年12月1日、全国で民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。

大阪府民生委員児童委員協議会連合会も、12月10日に開催された理事会において新しい役員が選出されました。今後は新しい体制で、さまざまな取り組みを具体的に進めながら事業展開を図ってまいります。

本会の会長、副会長より就任にあたり、皆さまにご挨拶を申し上げます。

大阪府民生委員 児童委員 協議会連合会 新体制がスタート!!



人との絆を深めて

平成25年一斉改選で大阪府民児協連では6,053名が厚生労働大臣の委嘱を受けられ、新体制が発足しました。このたび、大阪府民児協連会長に推薦され、誠にその重責を痛感いたしているところでございますが、社会福祉の向上に一生懸命努力してまいり所存でございますので、皆さま方のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

今日、家族関係や地域社会とのつながりが薄れ、生活課題や福祉課題を抱える人々が増加しています。私たちは、地域住民のニーズに応えるべく地域住民の立場に立つたきめ細やかな相談、支援の充実に邁進してきました。引き続き、地域住民・各種団体・関係機関などと、連携、協働し、人と人との絆を深めてまいりたいと思います。府民児協連の二層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

● 大阪府民児協連 会長



石原 欽子(四條畷市)



野口 良美(摂津市)

● 大阪府民児協連 副会長

**相談支援活動が
しやすい環境づくりを**

このたび、副会長という大役を仰せつかり責任の重大さを感じております。

今日、まだまだ厳しい社会情勢下にある中、少子高齢化社会が進展し、要援護者や要支援者が増加の二途を辿り、また、子育て不安などを背景に児童虐待など子どもを取り巻く環境も大変厳しい状況の中、民生委員・児童委員に求められる役割は、ますます大きくなってきております。

このような社会の変化に対応し、地域住民の身近な存在で、住民に寄り添った相談支援活動がしやすい環境づくりに、皆さま方とともに頑張つてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



新庄 桂子(交野市)

● 大阪府民児協連 副会長

**地域一帯となつて手を
差し伸べる社会に**

今回、大阪府民生委員児童委員協議会連合会の河北ブロックの副会長として、大任を仰せつかりました。

災害時や、日頃の見守り・援助を必要とする方々を、地域と一体となつて手を差し伸べる社会づくりをめざす一員として、微力ですが皆さまの協力を得ながら3年間務めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。





山本 俊雄(富田林市)

● 大阪府民児協連 副会長

顔の見える支援活動を

このたびの二斉改選に伴う役員改選で、大阪府民児協連の副会長という重責を務めさせていただくことになりました。

私たちを取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化が進み、地域での人と人の結びつきが希薄化しており、高齢者や児童の孤立防止を図るため、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」に向け、顔の見える、寄り添う相談支援を推進していきたいと、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。



藤堂 重昭(泉佐野市)

● 大阪府民児協連 副会長

広げよう地域に根ざした思いやり

今回の二斉改選で大阪府民児協連副会長という大役を仰せつかり、責任の重大さを考え、未熟な自分で務まるか心配しております。皆さま方にご指導いただきながら微力を注ぎたいと思っております。

委員の皆さま、特に新たに委嘱された皆さま方、高齢者や児童に対するさまざまな問題など、地域福祉は多種多様化しています。

今後、大阪府民児協連の発展のために「広げよう地域に根ざした思いやり」精神で取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。



福永 亮碩(東大阪市)

● 大阪府民児協連 副会長

皆さまのご協力とともに

このたび、大阪府民生委員児童委員協議会連合会にて重責を担わせていただくことになりました。今、民生委員・児童委員の役割は多様化しており、地域社会の中でさまざまな場面での対応を期待されております。私自身は、微力非才でございますので、皆さまのご協力をいただきながら誠心誠意努力してまいりたいと存じます。ご指導・ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



民生委員・児童委員を退任された大阪府民児協連正副会長



大阪府民児協連前会長
羽原 義人(羽曳野市)

顔の見える民生委員・児童委員へ

昭和五十二年十二月に民生委員・児童委員を拝命以来三十六年にわたり、微力ながら地域福祉の向上に尽力して参りました。

この間、地元地域の皆様方は勿論、委員の皆様、市・府行政機関をはじめ、関係方面各位のご指導、ご高配により任務を全うすることが出来ました。ここに改めて厚くお礼を申し上げます。

福祉環境も大きく変化し、地域住民の生活課題も多様化、人間関係も希薄化して参りました。今後も益々、民生委員・児童委員への期待も高まって参ります。

世間での民生委員・児童委員に対する、社会的評価、認知度は必ずしも満足するものではありません。役割の二層の周知とともに方面委員制度創設100周年に向け、厚生労働大臣委嘱による全国二十三万人の同志と共に任務の重要性をふまえ「顔の見える民生委員・児童委員」を引き続き積極的に展開していただけます様、切に、お願い申し上げます。



大阪府民児協連前副会長
坂本 光世(松原市)

地域の皆さんの心の支えに

「民生委員は貴女の人生修業です」と言われて、昭和61年12月より民生委員・児童委員をお受けして27年間色々なことがありました。

松原市初めての女性地区委員長や平成19年には松原市初めての女性の会長、平成22年12月には大阪府の副会長もお受けしました。多くの会長さんや府社協の職員さんの皆さんとの出会いで他の市町村の様子もわかり学ぶことも多く二日二日により大切に思えるようになりました。行事や活動が無事終わり、参加者の皆さんの楽しそうな笑顔を見ると疲れも忘れ、また次のことを考えるようになりました。

ある時永年かかわった母子家庭の人が「来月から自分たちでやって行きます。永い間ありがとうございました」と言われた時や別の母子家庭の人が「新しい人と再婚します。有り難うございました」と言われた時は自分のことの様にうれしく、どうぞ幸せになつてと祈る気持ちでした。

民生委員・児童委員の皆さん、地味な活動ですが、地域の皆さんの心の支えにしてもらえるような民生委員・児童委員になつて下さい。これからの民生委員・児童委員は住民の皆さんが安心して住み続けることが出来る地域社会づくりと顔の見える民生委員・児童委員活動と言われております。自覚を持ってより二層のご活躍をいただけますようお願いいたします。





高槻市民生委員児童委員大会で
「民生委員の歌」を熱唱

高槻市民児協 活動報告

平成25年度
優良民児協表彰

社会福祉協議会や地域と連携し、 全員で力を合わせて活動を推進

優良民児協表彰とは全市民児連において執り行われる表彰の1つであり民児協の開催や運営状況が優れ、活動実績のある民児協が表彰されます。

平成25年度、大阪府においては、高槻市民児協が受賞されましたので高槻市民児協の活動についてご紹介をしていただきます。

高槻市は、大阪府北摂地域に位置する市です。人口は355千人を超え、東大阪市、豊中市と共に中核市に指定されています。大阪から21.2km、京都から21.6kmと、京都市、大阪市のほぼ中央に位置し、市章も京都市と大阪市の市章を融合させながら高槻の高を模ったデザインとなっています。

南端には三十石舟等の水運の要所となる淀川、北端には摂津峡をいただく北摂連山を臨み、山裾には大小500基以上の古墳を有する三島古墳群が広がり、中でも真の継体天皇陵とされる今城塚古墳など古墳時代初期から末期までの各時代の古墳が現存しています。

新池遺跡は日本最古で最大級の埴輪工場で新池遺跡ハニワ公園として保存公開されています。また、高槻領主高山右近がキリシタン大

名だった影響で明治時代には隠れキリシタンの里としても発展をしました。

その様な環境の中で、当協議会では市内41小学校区の地区委員会とこども家庭福祉部会・企画調査部会・地域福祉部会・広報部会の4つの専門部会と主任児童委員連絡会を組織し、約500人の民生委員児童委員が地域住民が安心して暮らしている見守り活動に取り組んでいます。

近年の活動として、こども家庭福祉部会では、「こども映画会」「オアシス(挨拶)運動」「民生委員の歌」花咲く郷土コーラス隊の立ち上げ」等の活動をしています。

昨秋には厚生労働大臣表彰も授与されました。企画調査部会では、高槻市民生委員児童委員の為に「活動ハンドブック」を作成しました。地域福祉部会では、各地区委員会に於ける特別事例報告と対策を整理した「地域活動個別事例集」の作成、広報部会では民生委員児童委員間の情報交換や情報提供を図る為の機関誌「民児協だより」や「躍進」を発行しています。主任児童委員連絡会では、課題を抱える親子などの発見に努め学校や関係機関、地区委員

会と意見交換などを行い問題意識を共有しながら解決策に取り組んでいます。また、日本各地で発生している大災害に備え、民生委員児童委員が防災時に職務優先をして災害に巻き込まれる事の無いよう、災害対策プロジェクトチームを立ち上げて、「災害時要援護者支援活動マニュアル」も作成しました。その他にも正副会長会、委員長会、地区定例会を開催しています。以上、高槻市民生委員児童委員協議会の活動状況を紹介致しましたが、今後も関係機関との連携の下、事務局の協力も得ながら、全員一致で民生委員児童委員活動に取り組んでまいります。



高槻市民生委員
児童委員のための
「活動指針」



高槻市マスコットキャラクター
*はにたん。

大阪狭山市民児協では、市とともにクリスマスイベントを開催するなど、地域一体となった支援活動に取り組んでいます。今回は、このイベント開催の経緯や行政との協働についてご紹介します。



民生委員・児童委員さん

●大阪狭山市民生委員児童委員協議会●

大阪狭山市と協働で、
さまざまな子育て支援活動を展開



楽しいクリスマスの雰囲気を演出

親子の
笑顔あふれる
クリスマスイベント

平成25年12月11日・12日の2日間、大阪狭山市のSAYAKAホール コンベンションホールにて、「おやこ de ぽかぽかクリスマス」が開催されました。このクリスマスイベントは、平成24年に大阪府民児協連からの助成を受けてスタートした事業で、大阪狭山市民児協と大阪狭山市認定子育てサポーター連絡会の共催により開催されています。

会場は、手作りおもちゃで遊ぶ「おもちゃのひろば」や、でんでん太鼓やツリーなどを作る「てづくりひろば」、絵本を集めた「えほんのひろば」、民生委員・児童委員、認定子育てサポーターの活動を紹介する「おしらせひろば」で構成され、ピアノ伴奏に合わせてクリスマスソングと一緒に歌ったり、サンタクロースも登場するなど、子どもたちはそれぞれのブースで楽しい時間を過ごしました。また、保育所で調理員経験のあるスタッフによるレシピ提供なども行われました。

開催にあたっては、市の広報やホームページでの告知をはじめ、市の関係機関や子育て関連イベントでのチラシ配布、民生委員・児童委員が各担当地区でPRを実施しました。当日は、市内の幼稚園や保育園の子どもたち、一般参加の親子など2日間で833名が参加。昨年の546名から大幅に増加し、会場は親子の笑顔があふれる大盛況のイベントとなりました。



クリスマスなどに使えるような
レシピを会場で配付



左から大阪狭山市市民児協の植山会長、辻前会長

日頃から 市と協力し、 子育て支援を行う

大阪狭山市では、子育てに関する講座や交流会などを行う大阪狭山市立子育て支援センター「ぼっぼえん」を平成18年に開設しています。さらに、子育てや保育経験のある市民を、認定子育てサポーターとして養成し、地域の子育て支援に協力していただいているほか、就学前の子どもとその保護者が気軽に利用できる地域の遊び場「あそびのひろば」を各地域に開設するなど、さまざまな子育て支援事業を行っています。大阪狭山市民児協でもこうした市の取り組みに対して積極的に協力しており、この「おやこ de ぼかばかクリスマス」も市との日頃からの連携により実現したものです。

「市は、子育て支援にとっても力を入れていますので、私たち民生委員・児童委員もともに活動してきました。私たちは子どもに関しては素人ですから、普段から専門的な知識を持った

ぼっぼえん。や認定子育てサポーターのみなさんにご指導いただいています」と、クリスマスイベントの立ち上げに携わった大阪狭山市民児協の辻前会長。植山会長も「担当地域で子どもに関わる問題があれば、ぼっぼえん。や認定こどもサポーターにつなぐようにしています。市民のみなさんも子どものことで悩みがあれば、ぼっぼえん。などにまず相談される方が多いようですね。私たち民生委員・児童委員は、地域の子育て支援の場にお手伝いに行くなど、協力させていただいています」と話されました。



サンタクロースに扮した
民生委員・児童委員からの子どもたちへプレゼント

地域で役割を 分担することで、 より良い活動に

一方、ぼっぼえん。の隅田所長も、「認定子育てサポーターは地域での活動が中心になるため、民生委員・児童委員さんとの共催によってこのような大きいイベントを開催でき、とてもうれしく思っています」と話されます。連携のきっかけは「ぼっぼえん。開設した平成18年に民生委員・児童委員のみなさんに『力を貸してください』とお願いしたことですね。以後、ぼっぼえん。や各地域の「あそびのひろば」にボランティアとして来ていただき、子どもと遊んでいたたり、お母さんが相談している間に子どもを見ていただいたりと、とても力になつていただいています」と隅田所長は話されました。

毎年10月に市が主催している未就学児対象のイベント「ぼっぼえんまつり」にも民児協が協力するなど連携は密になっており、「おやこ de ぼかばかクリスマス」でも民生委員・児童委員とぼっ



絵本の読み聞かせを行っていました



クリスマスソングのピアノ演奏に合わせて、楽器で遊ぶ子どもたち

ぼえん、認定子育てサポーターと一緒に2カ月ほど前から準備して取り組んできました。イベント当日は、グリーンのジャンパーを着た民生委員・児童委員が午前・午後それぞれ入れ替わりで参加し、子どもと手作りのおもちゃを作ったり、ミニコンサートの伴奏などを行っていました。

民生委員活動の多忙さや欠員などが問題となっている中

で、市や地域のさまざまな団体と連携し、役割分担を明確化することや、地域で情報交換を密に行い、一丸となって活動することが求められています。大阪狭山市民児協では、市との連携のほか、地域の会合には積極的に参加し、情報収集や協力体制の強化を図っています。

事業を継続し、活動の活性化につなげる

今後の活動に関して、植山会長、隅田所長らは「今の事業を

継続し、広げていくことが必要である」と声を揃えます。「民生委員・児童委員さんが手作りのおもちゃをいろいろ作ってくださって、子どもたちはとても楽しんで帰っていきます。今後もぜひ継続していきたいと思います」と隅田所長。「お母さんたちも本当に楽しそうな顔をしていました。私たち民生委員・児童委員だけではこれだけのイベントはなかなかできません。私たち自身も普段、これだけの子どもさん

たちとふれあう機会がないので、楽しく活動させていただいています。この活動を地域に持ち帰り、民生委員・児童委員のさまざまな活動も活性化したいですし、こういった機会に若いお母さん方へ民生委員・児童委員についてPRしていきたい」と植山会長も今後への意欲を話されました。

子育て支援だけでなく、さまざまな場面で市や関係機関との協働を進めることは、地域福祉の向上につながります。これからの大阪狭山市民児協でのさらなる活動が期待されます。



民生委員・児童委員協議会のPRブース



民児協だより



「北摂ブロック」能勢町
子育てサロン「にこにこ」
10年目になります

平成16年に月1回の活動としてスタートした子育てサロン「にこにこ」。親子で楽しめる季節の行事を取り入れたクラフト、手遊び、紙芝居などを、民生児童委員、主任児童委員、ボランティアの手で工夫しながら協力して運営してきました。

翌年には、お母さん方の要望で月2回の開催になり、今年で10年目になります。

今では子育て中のお母さん方が、育児の悩みや不安、楽しさを語り合い交流できる場となり、地域に定着してきました。

主になって活動に関わってきた前児童福祉部会長は、「町報で毎月の活動日を知らせるようにしたと

ころ、参加者が増えました。

一人でも多くの人に参加してもらえて喜んでいきます。期待にこたえられるようにスタッフも研修を重ね、子どもたちとの関わり方や活動内容を勉強してきました。おかげで、家の孫たちとの関わり方もわかってきて、以前よりもなかよくなったような気がします。「おじいちゃん」の声に振り向くと、活動で出会った子でした。こんな風に呼んでもらえて、とても嬉しく思いました。」と。

活動がきっかけとなり、絆の輪が広がる。まさに私たちの民生委員・児童委員の仕事の原点です。

能勢町民児協



次回の準備中のスタッフ
敬老の日プレゼント(めがね置きです)



今日の工作は、なにを作るの
お母さんといっしょに物づくり(竹ぶえです)

「河北ブロック」寝屋川市

認知症を正しく理解しよう&民生委員PR

本民児協は3年前の一斉改選時に100周年を見据えて部会を民生委員全員参加型に変更いたしました。民生委員在任5期までは必須、5期以上は研究会を作ることでできるとしています。この5期以上のメンバー約70名余りで研究会を立ち上げました。研究テーマは、現在、社会的な問題になっている「認知症」についてです。



民生委員全員は「認知症サポーター」になっているので、サポーターを養成する講師役ができる「認知症キャラバン・メイト養成研修」を受講しキャラバン・メイトとなりました。

認知症について専門家を招き、各々分野での学習をしながら、一方では「認知症キャラバン・メイト」としてサポーター養成講師役の研修を積み重ねてきました。サポーター養成にはパワーポイントを使うのではなく、「民生委員シナリオ」を上演しています。劇「コント」を中心にオリジナルシナリオを作り、専門家などの助言を得ながら練習を重ねてきました。上演するのは30名、ダブルキャストで60名余りがメンバーです。

校区（地区）福祉委員会、社明、地区コミュニティセンターなどからオフアアを受け、一人でも多く認知症サ

ポーターを増やしていく一助を担うと同時に民生委員活動を広くPRしています。

言うまでもないですが、地域で認知症という病気を正しく理解して、そっと寄り添ってくれる人が増えれば増えるほど当事者にとっても、家族にとっても、これまで通り地域で暮らし続けることができます。

この民生委員シアターは、とても好評で、事例に基づいてのコントなので「とても分かりやすかった」「もう少し早くこのような講座を受けたかった」などの声が寄せられました。

先日、初めて市内の中学校に福祉教育の一環として、登場人物に生徒会のメンバーを交えながら2年生全員を対象に上演しました。

それまでは「近い将来の自分の姿かな？」と思う参加者が多かったのですが、身を乗り出すように、中



には涙ぐむ参加者も見受けられました。中学生の反応は少し違っていました。それもそのはず、彼らにとっては遠い将来のことでした。専門的な説明のところは少し退屈したように見受けられたので、工夫が必要と実感しました。しかし「認知症」は、「病気」なのだということも理解してくれたし、サポーターとして活躍してくれると確信しました。

これからも、オフアアがあれば上演を続けサポーターを増やし、広く民生委員活動もPRしていきたいと思っています。

寝屋川市民児協





わんぱく広場の様子

きらきら広場にて
エプロンシアターを開催



民児協だより



地域と連携したさまざまな取り組み

〔河南ブロック〕 藤井寺市

藤井寺市民児協では、全体研修を企画委員会で作画するほか、高齢・障害・児童の3福祉委員会と7つの校区委員会それぞれ、研修会や施設訪問などの事業を展開しています。

具体的には、民生委員・児童委員が参加するものとして、全小学校区ごとで行っている。校区フェスタへ出向き、老人クラブや、更生保護女性会など地域の団体と連携を図りながら、ブンブンゴマ、だるま転がし、牛乳パックのはがき作りを地域の子どもたちと一緒に楽しんでいます。その他、各校区にある保育所で毎月行っている。わんぱくひろばの手伝い、毎週の園庭開放の手伝いなどもあります。

また、今年で18回目となるふくしまつり。が毎年11月に開催され、社会福祉協議会と市内ボランティア団体、授産施設などと協働で、おでん、焼きそばなどの屋台や、施設の授産製品販売、自助具の体験コーナーや、各団体の活動発表会、演劇や大型紙芝居、おてだま演舞、手話・点字ミニ講座を開くなどして、各団体のPR並びに福祉活動の理解促進を積極的に行っています。ちなみに、民児協では、フランクフルト、ブンブンゴマ、お茶、おにぎりの販売を受け持っています。

主任児童委員会では、就学前の親子を招待し、大型紙芝居や人形劇、親子体操、知り合いのコーラス隊を招いて、とても楽しい行事を開催しています。

民児協では、65歳以上の一人暮らし高齢者実態把握調査として、主治医、介護保険の利用状況や、緊急時の連絡先の把握に努め、必要に応じて地域包括支援センターや市担当課と同行訪問をするなど支

援策を講じています。この実態把握調査を通じ、介護保険をはじめとする諸サービスにつなぐなど、見守り体制を整えたり強化にもつながっています。

最後になりましたが、市役所、地域包括支援センターも私たちにとても積極的に協力をしていただき、日々の民生委員・児童委員活動に励んでおります。

藤井寺市民児協

会長 武本美佐登



1人暮らし高齢者の見守り訪問

「泉州ブロック」泉大津市

孤独死・孤立死ゼロをめざして

「すこやか訪問」実施

泉大津市民児協は、子育て支援、障がい者自立支援など従来の活動に加え、「第二次民生委員・児童委員発、災害時一人も見逃さない運動」を展開しています。また、平成22年度から消防本部と

協働による「要援護者宅への防火訪問」も行っています。

民児協は平成18年6月より、行政に災害時要援護者支援に必要な情報開示を要望して来ましたが、ようやく今年9月に願いが叶いました。これを機に、10月より「孤独死・孤立死ゼロ」をめざす「すこやか訪問」を始めました。「すこやか訪問」では70歳以上の独居（見守りを希望する人）を対象に、民生委員・児童委員が、定期的に「見守り・声掛け」を行ない、安否確認や相談ごとに応じ

ています。

「個人情報保護法」が大きな「壁」となり活動の妨げとなっている昨今、情報の共有化は、守秘義務と厳重な情報管理が求められる事から、11月に「個人情報保護管理」に関する研修会を開催し、

意識を高めました。

泉大津市民児協は今後、行政・関係団体と連携を図り、「地域コミュニティの再構築」に尽力したいと考えています。

泉大津市民児協

「すこやか訪問」で相談に応じる担当民生委員



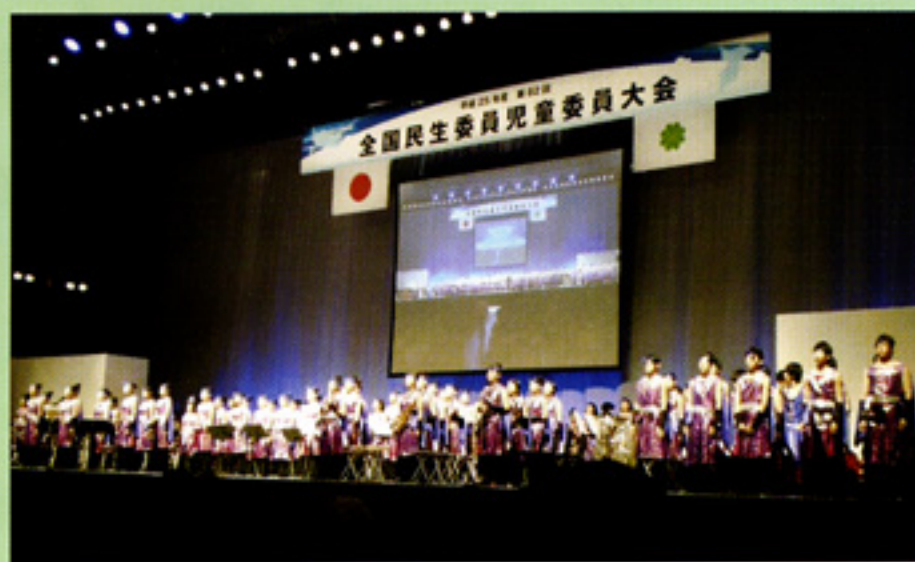
専門家（弁護士）の講義を熱心に聞く参加者

全国民生委員 児童委員大会&活動交流集会

千葉県
千葉市

～幕張メッセで開催～

全国から約4,000名の
民生委員・児童委員が参加しました!



「船橋市立船橋高等学校吹奏楽部」による活気みなぎるアトラクション

・式典 平成25年10月10日

1日目の式典においては全児連天野前会長が発声から2年7か月経過するいまもなお厳しい状況の中で活動する委員に対する敬意と全国の委員からの拠金の協力への謝辞が述べられました。

表彰式の後、北里大学病院患者支援センター部長である小野沢滋氏より「自分が望むところで生活し続けるために、民生委員・児童委員に期待すること」と題した特別講義がありました。

講義では初めに「現代医療が大きく前進するに比例して介護を必要とする者も爆発的に急増。病

●大会宣言●

一、高齢者、障がい者、子育て世帯、生活困窮者など、支援を必要とする人びとが孤立することがないよう、日々の訪問や見守り、相談活動に取り組み、早期に必要な支援につなぎます

二、住民の多様な生活課題に対応するため、地域の幅広い関係者との連携とともに、住民同士のつながりの強化、互助の仕組みづくりなど、福祉のまちづくりをすすめます

三、虐待やいじめ、体罰、犯罪被害、貧困の連鎖などから子どもたちを守り、健やかな成長を支えられるよう、「わがまちならでは」の取り組みをすすめます

四、東日本大震災をはじめとする被災地の人びとやそこで活動する民生委員・児童委員への支援とともに、今後の災害に備えた地域での取り組みをすすめます

五、基本的な人権についての理解を深めるとともに、個人情報等の取り扱いなどに常に留意し、住民や関係機関・団体との信頼関係に基づく活動をすすめます

六、民生委員・児童委員がその力を発揮できるように、活動しやすい環境づくりのための取り組みを、市区町村、都道府県・指定都市、全国の各段階において一層すすめます

床数から溢れる多くの患者の退院後の生活支援について見直していく時期である」と医療が抱える課題を述べられました。

続いて「このような中、特に問題となるのは単身世帯のみならず要介護世帯においても孤立死の増加が予想される。課題解決のためには介護の問題を「家族介護」から「非家族介護」として地域の中で担っていく必要がある。特に民生委員には互助を実践するキーパーソンとして医療者等の専門職とスクラムを組んでほしい」とまとめられました。

会場からは「介護問題はどの家庭でも発生する可能性をもつ、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには地域で協力体制を構築しなければならぬ。特にわれわれ民生委員は課題を抱える家庭を発見し協力機関とのパイプ役となりたい」と共感の声が上がりました。

式典の最後には民生委員・児童委員活動を取り巻く状況や直面する課題を踏まえ、今後の活動に

・活動交流会 平成25年10月11日

2日目は活動交流集会在10の分科会会場に分かれ開催されました。

特に第2分科会においては「生活困窮者世帯のニーズ把握と相談支援活動の推進」と題し、大阪府からは藤井寺市社協地域包括支援センター長の前原由幸氏から介護が必要な親とその子の間で経済搾取があった生活困窮世帯への支援事例報告がありました。なかでも、民生委員と社会貢献支援員との連携について

は他府県からも感銘の声が上がり、「民生委員活動が多忙になるなかで協力機関との連携のあり方について参考にしたい」など熱心な議論が繰り広げられました。



発表する前原氏

主任児童委員の動き

第2回主任児童委員連絡会を開催(12月18日)

平成25年12月の一斉改選にともない、各民児協から主任児童委員連絡会に参加する代表者である主任児童委員連絡会委員が選出され、新しい委員による、連絡会が開催され各ブロック(北摂・河北・河南・泉州)から代表1名が連絡会役員として選出され、大阪府民児協連 主任児童委員連絡会役員が決定しました。

その後、おこなわれた情報交換では、主に来年度の主任児童委員ブロック事業の年間計画についてブロック内で企画等を行いました。「地元で新たな主任児童委員も多く加わるため主任児童委員活動の基礎となるような研修をしたい」「子ども家庭センターを積極的に講師として迎えることで連携を深めたい」「研修には民児協会長にも参加いただき報告の場を設ける等工夫することで協働の場を設けたい」という意見がだされました。今後はこの意見を参考にしながら、大阪府内の児童委員活動の推進のために、主任児童委員連絡会としての具体的な取り組みをすすめていきます。

■新主任児童委員連絡会役員のご紹介

代表	的場 恵子(八尾市)
副代表	川淵 敬子(島本町)
幹事	萩原 朋子(守口市)
幹事	伊藤 鼓代(高石市)



熱心に情報交換にとりくんでいます



挨拶される的場代表

就任にあたってのご挨拶

主任児童委員連絡会代表
的場 恵子

このたび代表という大役を仰せつかり、その責任の重さに身が引き締まる思いがいたします。

平成6年、主任児童委員制度が始まり、今年で21年目を迎えました。また、平成15年には大阪府民児協連主任児童委員連絡会が発足し、今のように市町村の枠を越えた主任児童委員のネットワーク作りとブロック別事業に取り組めるようになったのは、道筋を開いてくださった各民児協会長様をはじめ、歴代連絡会役員、諸先輩方のご尽力のおかげと感謝申し上げます。

これからも、子ども達の笑顔のために、新役員4名が心を合わせて、児童委員、主任児童委員の皆様とともに、さらなる活動や研修に取り組んでまいります。ご指導とご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

表紙の商品と作業所の紹介

●社会福祉法人 北摂杉の子会●



ジョブサイトよど 「よどのコロッケ」のみなさん

大阪市

まんまるひとくちサイズのコロッケ。これは、自閉症や発達障がいのある人のための支援施設「ジョブサイト よど」で作られているものです。阪急十三駅近くの店舗「よどのコロッケ」で、揚げたてのコロッケ6種類を販売しており、おいしくて気軽に食べられると人気を集めています。

「ジョブサイト よど」が、コロッケの製造販売に取り組むようになったのは、施設が開設された平成18年にさかのぼります。利用者さんに食品を取り扱う仕事をしてもらいたいと、厚生労働省の障害保健福祉推進事業として、コンサルタント会社と自然食品の弁当製造に取り組む企業と共同で研究事業を行ったことがきっかけでした。当初は有機野菜を使った宅配弁当事業に取り組んだものの、有機野菜は天候などの影響を受けやすく入荷が一定ではないといった問題があったそうです。そこで安定供給されるじゃがいもや玉ねぎ、にんじんなどを使ったものを作ろうと始まったのがコロッケ作りでした。



店頭で揚げたてをお出しします。



リズムカルにコロッケを作る利用者さん。大声で歌ったりせずに仕事をすればシールがもらえるそうで、集めるとフライドポテトが食べられるとか。

また、変化を苦手とする自閉症や発達障がい者にとっても、メニューが変わる弁当作りよりも、一定の仕事を繰り返すコロッケ作りの方が向いていたといいます。「自閉症や発達障がい者は同じことを繰り返し、丁寧に作業し続けられる力を持っているので、その力を生かそうとコロッケー本に絞りました」と、コロッケ事業の責任者である副施設長の田端たまみさんは話します。

コロッケは、北新地のキッチンバーで試験販売するなど、マーケティング調査も行い、平成21年にはついに店舗「よどのコロッケ」をオープン。地元の方々や近くの高校に通う生徒に人気の店となりました。

「ジョブサイト よど」の厨房でつくられるコロッケは、毎日600～900個。取材時は、タネを計量して、コロコロと丸め、粉をつけ、パン粉をつけるという作業を利用者の皆さんが慣れた手つきで素早く行っていました。また、他の施設とのコラボレーション商品を企画したり、居酒屋チェーンへ納品するなどといった展開も積極的に行っており、今後の新しい取り組みが期待されます。



＊お問い合わせ先＊

〒532-0023 大阪市淀川区十三東2-10-10

TEL/FAX.06-6306-4096

編集後記

一斉改選を迎え、府内において約1600名の新任民生委員・児童委員が加わりました。

生活困窮者世帯の増加やひきこもり問題等社会的な課題が増大するなか、民生委員活動も多様化しております。今後はより広く関係機関等と連携した体制づくりが求められます。まだまだ寒い日が続きますがみなさま、ご自愛ください。

Well ウエル おおさか vol.30
(通巻64号)

発行日：平成26年2月

発行：大阪府民生委員児童委員協議会連合会

事務局：大阪府中央区中寺1-1-54 大阪府社会福祉協議会内

TEL.06-6762-9486 FAX.06-6762-9487

URL <http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyoo/>



この冊子は再生紙を使用しています。